

大腸CT検査(大腸3D-CT)について

大腸CT検査とは…

大腸CT検査は内視鏡を使わない新しい大腸検査です。
肛門から炭酸ガスを注入し大腸を拡張させ、マルチスライスCT装置で撮影します。
撮影で得られた多くの画像から3次元画像解析を行い、大腸がんや大腸ポリープを見つけることができます。
他の大腸検査法と比較して、苦痛が少なく短時間で検査することが可能です。

大腸CTと大腸内視鏡

	大腸CT(当院)	大腸内視鏡
下剤量	約400ml	約1800ml
観察領域	大腸、他腹部臓器	大腸のみ
組織採取	できない	できる
医療被ばく	あり ※必要最低限の被ばくに抑えています	なし
鎮痛剤、鎮痙剤	不要 ※他施設では使用する場合があります	使用することが多い

※大腸CTにて異常が認められた場合、大腸内視鏡が必要な場合があります

大腸CT検査の流れ

1.検査前(1週間程度)

医師の診察の上、既往歴等の確認と検査の説明をさせていただきます。

2.前日

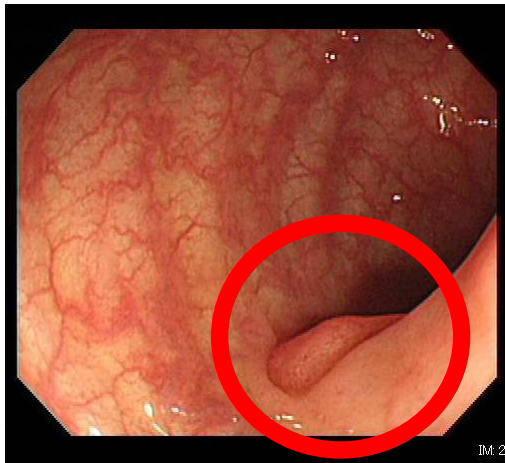
朝、昼、夕と専用の検査食を召し上がっていただきます。
また大腸CT用のバリウムと下剤もお渡しします。

※[詳しい内容はこちら](#)

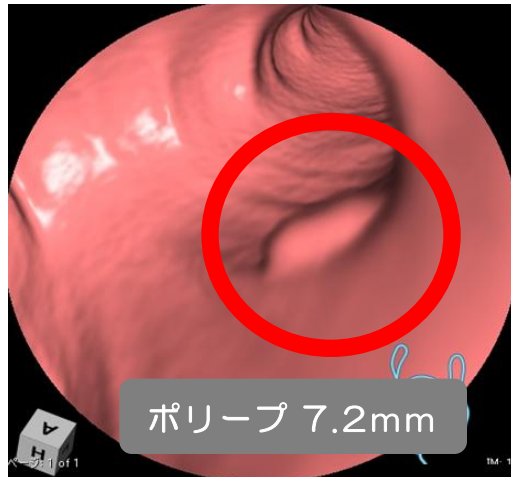
3.検査当日

来院後、問診を受けすぐに検査を行います。
検査終了後、医師の診察を受け帰宅できます。

症例



大腸内視鏡



大腸CT

※下記に該当する方は当院では検査できません

- ・消化管穿孔又はその疑いのある方
- ・腸閉塞又はその疑いのある方
- ・前処置が困難な方
- ・腎機能が極めて悪い方
- ・腸管手術直後の方
- ・重度の内痔核、直腸脱のある方
- ・腸炎、結腸炎のある方
- ・妊娠中の方

ご不明な点はお問い合わせください

お問い合わせ

笠岡第一病院

受付 月～金 午前 9:00～12:30 午後 13:30～17:30
土 午前 9:00～12:30

電話 0865-67-0211